

地球温暖化対策実施状況報告書

2019 年 7 月 31日

（報告先）
横浜市長

住所 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目1番1号
氏名 株式会社横浜銀行
代表取締役 大矢 恭好

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社横浜銀行 代表取締役 大矢 恭好				
事業者の主たる 事業所の所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目1番1号				
主たる事業の業種	大分類	J 金融業・保険業			
	中分類	62 銀行業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	7,732	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度 ~	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>1. 基本方針 当行では、以下の3つに大別して環境に配慮したさまざまな活動に取り組んでいます。</p> <p>(1) 当行グループにおける省エネルギー・リサイクルの推進 「チャレンジ25キャンペーン」へ参加し、業務用車両のエコドライブ、クールビズ、ウォームビズ等を実践しています。</p> <p>(2) 金融商品・サービスの提供等を通じたお客さま・地域の環境保全活動への協力 環境・エネルギー事業や資源リサイクル事業などに取り組む企業を積極的に支援しています。</p> <p>(3) 役職員一人ひとりによる環境保全を意識した行動の実践 地元開催の山や海岸、河川の清掃活動などに参加し、地域の方々と協力して環境保全に取り組んでいます。 また、自治体と連携し、県内における緑化活動をおこなっています。</p> <p>2. 「主要なエネルギー使用設備の更新等の検討」の結果</p> <p>(1) 更新対象設備 本店ビル、事務センターの空調設備更新等。</p> <p>(2) 更新理由 省エネルギー効果が見込まれるため。</p> <p>(3) 更新スケジュール 28年度～30年度に順次実施。</p>

4 推進体制

○本部における推進体制
 計画管理責任者：人財部長
 計画推進責任者：人財部 総務・経費グループ グループ長
 技術管理者：本店 中央監視室員
 事務センター 電気室リーダー

○支店等における推進体制
 各支店の副支店長（副支店長が不在の店舗については支店長）を推進責任者とする。

```

    graph TD
      A[代表取締役] --> B[計画管理責任者  
(人財部長)]
      B --> C[計画推進責任者 兼  
推進責任者  
(人財部 総務・経費グループ  
グループ長)]
      C --> D[営業戦略部  
ファシリティマネジメント  
グループ 担当者]
      C --> E[総務担当者]
      C --> F[推進責任者  
(支店副支店長)]
      E --> G[技術管理者  
(事務センター 電気室)]
      E --> H[技術管理者  
(本店 中央監視室)]
    
```

5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	本店
	所在地	横浜市西区みなとみらい3丁目1番1号
	閲覧可能時間	9時から17時
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	16,483	t-CO ₂			基準原単位	78.92	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	15,547	t-CO ₂			目標原単位	72.71	t-CO ₂ / 千m ²
目標年度 (2018年度)	目標排出量	15,186	t-CO ₂	削減率	7.9 %	削減率	7.9 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>前回計画（平成25～平成27年）のうち最小の排出量である平成25年実績排出量15,656t-CO₂より3年間で3%削減する目標としています。よって今回計画（平成28～平成30年）の基準排出量（平成27年度実績）に対しては3年間で7.9%削減する目標としています。 本部および全営業店における省エネルギー運動の実施ならびに本店ビル、事務センターの空調設備更新など設備投資の実施等により排出量の削減を図ります。</p>							
事業者全体としての目標等								
第一年度 (2016年度)	排出量	14,064	t-CO ₂	削減率	14.7 %	排出原単位	67.34	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	13,542	t-CO ₂	削減率	12.9 %		削減率	14.7 %
目標等の達成状況及び説明	<p>事務センターでの電算設備の一部撤去およびそれに伴う空調負荷減少により、排出量は大幅に削減されました。また本店ビルでの空調設備の省電力化と運用改善による冷却水使用量減少により排出量を削減しました。</p>							
第二年度 (2017年度)	排出量	14,155	t-CO ₂	削減率	14.1 %	排出原単位	67.88	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	13,591	t-CO ₂	削減率	12.6 %		削減率	14.0 %
目標等の達成状況及び説明	<p>2016年度の事務センターでの電算設備の一部撤去およびそれに伴う空調負荷減少により、排出量は大幅に削減されました。また、本店ビルでの空調設備全般の改修工事が完了し、熱源（冷水・蒸気）使用量が削減されました。</p>							
第三年度 (2018年度)	排出量	13,917	t-CO ₂	削減率	15.6 %	排出原単位	66.67	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	13,224	t-CO ₂	削減率	14.9 %		削減率	15.5 %
目標等の達成状況及び説明	<p>事務センター空調設備を更新による省エネ化、本店において空調設備用電動機をより効率の良いものに更新したこと、高圧トランスを統合し余剰となった一台廃止したことによる消費電力の減少により排出量を削減しました。</p>							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>電力消費量の多い施設を中心に空調・電気設備を更新及び運用方法の改善による効率化、省エネ化により熱源・使用エネルギーの使用量を削減し二酸化炭素排出量を削減することができた。</p>							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k1以上	1	7,659	0	0	0	0	0	0
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,781	2	9,196	2	9,277	2	9,172
500k1以上 1,500k1未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k1未満	118	5,043	118	4,868	117	4,878	115	4,745
合計	120	16,483	120	14,064	119	14,155	117	13,917

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	120/120	—	年度			実施済	119/119	—	年度			実施済	117/117	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	120/120	—	年度			実施済	119/119	—	年度			実施済	117/117	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	82/82	—	年度			実施済	82/82	—	年度			実施済	82/82	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	82/82	—	年度			実施済	82/82	—	年度			実施済	82/82	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	120/120	—	年度			実施済	119/119	—	年度			実施済	117/117	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施済	実施済	5/5	—	年度			実施済	5/5	—	年度			実施済	5/5	—	年度		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	実施済	82/82	—	年度			実施済	82/82	—	年度			実施済	82/82	—	年度		
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	82/82	—	年度			実施済	82/82	—	年度			実施済	82/82	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 冷凍機5台、8'17-2台	7/7	年度			実施済	(設備の種類) 冷凍機5台、8'17-2台	7/7	年度			実施済	(設備の種類) 冷凍機5台、8'17-2台	7/7	年度		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 冷凍機5台	5/5	年度			実施済	(設備の種類) 冷凍機5台	5/5	年度			実施済	(設備の種類) 冷凍機5台	5/5	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 8'17-2台	2/2	年度			実施済	(設備の種類) 8'17-2台	2/2	年度			実施済	(設備の種類) 8'17-2台	2/2	年度		
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 8'17-2台	2/2	年度			実施済	(設備の種類) 8'17-2台	2/2	年度			実施済	(設備の種類) 8'17-2台	2/2	年度		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 蒸気8'17'35台減圧弁1台	36/36	年度			実施済	(設備の種類) 蒸気8'17'35台減圧弁1台	36/36	年度			実施済	(設備の種類) 蒸気8'17'35台減圧弁1台	36/36	年度		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類)	/	年度	該当設備は設置していない		非該当	(設備の種類)	/	年度	該当設備は設置していない		非該当	(設備の種類)	/	年度	該当設備は設置していない	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類)	/	年度	該当設備は設置していない		非該当	(設備の種類)	/	年度	該当設備は設置していない		非該当	(設備の種類)	/	年度	該当設備は設置していない	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類)	/	年度	該当設備は設置していない		非該当	(設備の種類)	/	年度	該当設備は設置していない		非該当	(設備の種類)	/	年度	該当設備は設置していない	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	年度	横浜市内事業所	693	（株）東京電力エナジーパートナー、（株）伊藤忠エネクス、（株）JXエネルギー、（株）E-Power
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ol style="list-style-type: none"> 都市緑化活動として 桜木町駅前広場に木や花の植栽活動をおこない、CO₂削減に貢献しています。 環境や社会的責任に配慮した金融への取り組みとして 「持続可能な社会形成に向けた金融行動原則」の活動を実践しています。
計画期間内に実施する対策	<ol style="list-style-type: none"> 都市緑化活動 環境関連事業に取り組む企業への支援
第一年度実績	<ol style="list-style-type: none"> 都市緑化活動 市内における環境浄化植物「サンパチェンス」の植栽活動を実施しました。 環境関連事業に取り組む企業への支援 「〈はまぎん〉環境格付融資制度」の取り扱いを実施しております。
第二年度実績	<ol style="list-style-type: none"> 都市緑化活動 桜木町駅前広場に木や花の植栽活動を行い、CO₂削減に貢献しています。 環境関連事業に取り組む企業への支援 「〈はまぎん〉環境格付融資制度」の取り扱いを実施しております。
第三年度実績	<ol style="list-style-type: none"> 都市緑化活動 みなとみらい地区、桜木町駅前広場で植栽活動を行い、CO₂削減に貢献しています。 環境関連事業に取り組む企業への支援 「〈はまぎん〉環境格付融資制度」の取り扱いを実施しております。

14 実施状況等に対する自己評価

当行は、下記の3つを基本に環境問題に積極的に取り組んでいます。

1. 当行グループにおける省エネルギー・リサイクルの推進
2. 金融商品・サービスの提供等を通じたお客さま・地域の環境保全活動への協力
3. 役職員一人ひとりによる環境保全を意識した行動の実践

今後も引き続き、この方針にもとづき、当行自身が使用するエネルギーの削減およびお客さまや地域の環境保全への取り組みを支援する活動をおこなってまいります。